



Alter

安全な食べものネットワーク オルター
since 1976

株式会社オルター 事業案内
BUSINESS GUIDE





「いのち」「暮らし」「しぜん」

あなたとあなたの大切な人の「いのち」をまもるために、
オルターは日々活動しています。

1.

日本一高い安全基準「西川スタンダード」

- ・野菜は原則無農薬のみ
 - ・汚染のない海域での魚介類・えさと飼い方の安全性を確認した畜産品
 - ・原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物を徹底的に排除した加工品
- などにより、他の宅配団体、自然食品店とは一線を画した高い安全基準の品もののみを提供します。
取扱品はすべて「西川スタンダード」によって厳選し、その情報をカタログ誌面などで公開しています。

2.

すべての生産情報を公開

「誰が・どこで・どのようにつくったか」の情報を全ての品ものについて必ず公開します。
また、生産工程や使用した原材料など、きちんと情報が確認できる品ものを扱い、
必要に応じて情報が選べる仕組みを構築しています。

3.

どこよりも厳しいオルターの放射性物質検査基準

オルターの放射能防衛ラインは1 Bq/kgです。
オルターは、1986年のチェルノブイリ原発事故以来放射能汚染の心配のない
食べものの確保に取り組んできたおそらくは唯一の団体です。
福島原発事故以降もちろんその方針は変わりません。
医学的根拠の全くない政府の甘い暫定基準では安心できないと考えています。

いのちを
守るために
できること。



安心・安全な食べもの、 日用品の宅配サービス事業

週1回、会員さんのお宅に安全で新鮮な食べものや、安全で環境にやさしい日用品をお届けする個人宅配及び共同購入のシステムを構築。口コミを通じて多くの方の共感を得、会員数も年々増加しています。



安心・安全な食べものの 技術開発・コンサルティング事業

オルターが技術指導し独自の原料とレシピで作る、オルターだけのPB(プライベートブランド)製品の他、技術開発の支援や指導、生産・販売に関するコンサルティングも行っています。



保育食・食育事業

食材提供、献立策定、穀物を正しく食べる特許を利用した調理までをトータルに提供しています。食育体験のできるプログラムもご用意しています。



オーガニックカフェ運営

100%オルター食材のカフェレストランを運営。オルター食材を直接体験できるフラッグショップとして機能しています。展示即売スペースも併設していますので、会員以外の方の購入も可能です。



料理教室・各種講座の企画運営事業

オルターの食材を無駄なく、最大限に活かすための料理教室を企画運営しています。穀物の真実、食べものの安全性を知る"グレインマイスター"認証が得られる講座の受付・運営もしています。



都市と農村の交流企画運営事業

オルターの情報公開の一環として、会員と実際の生産現場を訪問するツアーを随時開催しています。他にも、都市と農村を結ぶ架け橋となる活動を行っています。



健康に関する教育及び コンサルティング事業

健康や代替医療に関する各種講習・セミナーを随時開催しています。オルター持尾センター 常設健康相談所では、代替医療の施術・相談の他、保養施設としても利用できます。



自然エネルギーによる 発電事業

太陽光発電をはじめとするフリーエネルギーの活用に取り組んでいます。



オルターの施設

安心を
ささえる
3つの施設。



【千早赤阪センター(オルター本社)】

オルターの自然豊かな活動拠点

オルターの本社機能の他、各種講習やセミナーを行うスペース、オルターの直営オーガニックカフェ、展示即売所もこの地にあります。また、農業研修センターとしても活用されており、オルタークラインガルテン(無農薬・有機栽培の体験農園)、農事組合産地消大阪農業者ネットワークの実証圃場、海外からの留学生などの活動拠点としての機能も持っています。



調理室



展示即売所



オーガニックカフェ

【オルター持尾センター 常設健康相談所】

健康・未病・闘病のお手伝い

顧問医師による医療の相談はもちろん、ホルミシス温熱浴、塩素消毒していないプール(夏季限定)や、料理教室、エステ体験、森林浴などさまざまな体験ができる施設です。各種健康相談の他、健康応援グッズのご相談も承っています。あなたにぴったりのグッズをご紹介します。



【放射能検査室】

センター内に検査室を完備。ドイツ、ヘルトールド社製γ-スペクトロメーターLB2045を導入し、自社での測定体制を整えています。検出限界1Bq/kgを守るため、1検体27時間かけて測定を行います。



【農事組合法人産地消大阪農業者ネットワーク 有機農産物物流センター】

2014年8月に始動した物流センター

オルターの関西地域の物流拠点。日本の有機農業の発展と地元・河南町、千早赤阪村の地域おこしの拠点として、株式会社オルターと農事組合産地消大阪農業者ネットワークが建設しました。



【オルター河南町第一発電所】

一般住宅50世帯分の電力を賄う施設です。CO₂の削減量は年間100.9t、杉の木換算で7,207本分。石油削減量は年間45,400リットルとなります。

オルターで
ひろがる
安心の輪。



オルターの物流拠点



◎オルター関東センター



◎オルター東海センター



◎オルター京都センター



◎オルター徳島センター



オルターの 独自コミュニケーションシステム



エルダーシステム

オルターでは一人ひとりの会員に担当エルダー（会員お世話係の愛称）がつき、オルター生活の水先案内からアフターケアまでを受け持つシステムをとっています。

また、新入会の方には、どんな食材を注文し、どのように調理をして1週間を食べるとよいかを実際にお見せする「クッキング・オリエンテーション」への参加をプレゼントしています。



オルターの宅配フランチャイズ「AC」

お店やレストラン、団体・グループなどで、オルター提携店舗としてどこよりも安全・安心な食べもの・品もの2万アイテム以上を扱えるシステムを構築しています。



会員が参加できる各種イベント

オルターオーガニックフリーマーケット、オルターフェスティバル、会員集会など、各種イベントを企画運営しています。

オルターの 沿革

- 1975 ● 河内長野市に「ホンモノの食品を求める活用者の会」が発足。
- 1976 ● 徳島市で「徳島暮らしをよくする会」が発足。
- 1990 ● 「徳島暮らしをよくする会」が生協化し、生活協同組合「ふれあいコープ徳島」に。
- 1991 ● 「コープ四国事業連合」が設立される。
- 1994 ● 「ホンモノの食品を求める活用者の会」を改組し、生協準備会「オルターコープ大阪」を設立。コープ四国事業連合と連携。
- 1998 ● 生協の運営方法では「安全な食べもの」のポリシーが守られないと判断。非生協化を決定。
生協準備会「オルターコープ大阪」を解散し、同時に「安全な食べものネットワーク オルター大阪」を設立。
- 2000 ● 「安全な食べものネットワーク オルター」に改名。
- 2002 ● インターネットでのオンライン注文が可能に。また携帯電話からのWEB注文に先駆的対応を始める。
- 2005 ● カタログをカラー化。
- 2006 ● 創立30周年記念イベント「オルターフェスティバル」開催(12月3日)。
- 2007 ● カタログリニューアル(アレルギー・原材料の表示開始、制作の自動組版化など)。
- 2009 ● 市民活動組織として「安全な食べものネットワーク オルター」をNPO法人化へ。
- 2011 ● オルター常設健康相談所「Mond Moccio」(通称:持尾センター)オープン。
- 2011 ● オルター食品放射能分析センターにて放射能分析を開始。
- 2013 ● オルター千早赤阪センター(オルター農業研修センター)オープン。
- 2014 ● 農事組合法人地産地消大阪農業者ネットワーク 有機農産物物流センターオープン。
● オルター千早赤阪センターに本社を移転。

代表略歴



西川 榮郎(にしかわ ひでお)

安全な食べものネットワーク オルター代表

1947年、大阪市生まれ。立命館大学大学院理工学研究科修士課程修了後、大鷲薬品工業中央研究所主任研究員として、制癌剤の開発研究に携わる。大阪大学医学部胸部外科で「癌と免疫」を研究。

1976年、安全な食べものの共同購入運動「徳島暮らしをよくする会」を創設。ロングライフミルク追放、バスチャライズ牛乳実現、市民運動サミット「ばななぼうと」を主催。脱原発、薬害告発、農薬空中散布中止など、「いのち・自然・くらし」を守る幅広い運動に取り組んできた。

現在、株式会社オルター、NPO 安全な食べものネットワーク オルター代表として、安全な食材開発の最先端にいる。癌、アトピー、精神疾患などの代替医療にも取り組んでいる。

著書に「ほんものの牛乳が飲みたい」「LLミルク ここが問題」「ボイコットから創造へ」(いずれも日本消費者連盟刊)、「あなたのいのちを守る安全な食べもの百科 食は「いのち」偽装などもってのほか」(コモンズ刊)などがある。

主要提携先

高見保育園/こどものいえもも保育園/石川保育園/NPO法人子育てサポートくるみ くるみ共同保育園 あすなろ会/げんき保育園/キッズファースト 吉見光の子保育園/自然食品の店「まほろば」/片山本店/まぶちや/オーガニックハウスあさのは屋/安心食材「なごみや」/げんごろう/ヘルステーション けんこう舎/暮らしを考える会/ナチュラルライフステーション キャロット/ブルーベリーマート駒川店/米蔵人 あかい米穀店/モモの家/マクロビ・自然食 笑顔のだんらん/にこにこ堂/安全なお米・自然食品 根っこや/有機やさいと自然食品の店ゆうぎの八百屋/オーガニックストアchacha/暮らし屋/米紀行はたやす/エナジィ・ママ/ポケットくらぶ/八百丑/EMショップ百姓家族/マクロよつば/自然食品の店ひなたぼっこ/和田商店/自然食品・フェアトレードうつみ屋/自然食品と有機野菜の専門店ちろりん村/オーガニックの店 旬彩ダイニングManna/味旬香光/皆珈房/goo-note/あぼたん/KAKURA/レイズ カフェ/あかりカフェ/明宝飯店/喜楽歩/アルペンローゼ/福島屋/伊勢丹/クウィーンズ伊勢丹



オルター千早赤阪センター(株式会社オルター 本社)

〒584-0044 大阪府南河内郡千早赤阪村大字森屋962-1(旧千早赤阪村 自然体養村 管理センター)
TEL.0721-70-2266

オルター常設健康相談所(オルター持尾センター)

〒585-0021 大阪府南河内郡河内町持尾744-1
TEL.0721-21-3030(お問い合わせ専用番号[火・水・金曜日除く9:00~17:00])

有機農産物物流センター

〒585-0021 大阪府南河内郡河内町大字持尾740-1

Supported and consulted by

特定非営利活動法人 安全な食べものネットワーク オルター

NPO 安全な食べものネットワーク オルターは、株式会社オルターをはじめとする安全な食べもの開発の活動や、安全な農産物の生産活動を全面的に育成指導しています。

「オルター」という名前は、【問題解決のための本質的・根本的な代替提案】を意味する「alternative」という言葉に由来し、「本物」「安全」「エコロジー」への想いが込められています。

2014.09 発行